

様式6

令和 5年度 【施設名：岡崎市花園高齢者生きがいセンター】事業報告書

公の施設名称	岡崎市花園高齢者生きがいセンター
施設の設置目的、役割	市内北部地域を中心とした高齢者に、就業機会を提供し働くことにより社会参加を促進し、以て高齢者福祉の向上と健康維持と生きがいづくりに貢献する。
施設の所在地	岡崎市 恵田町 字 東三山 108番地11
施設規模	敷地面積：3,359m ² 建物面積： 621m ²
指定管理者	名称： 公益社団法人岡崎市シルバー人材センター 所在地： 岡崎市 美合町 字 五本松 68番地12 代表者： 会長 鈴木保光
<u>指定期間</u>	令和 3年 4月 1日 から 令和 8年 3月 31日 まで

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

事業実績

	受託件数 (件)	就業人員(人)		契約金額(円)			
		実人員	延日人員	配分金	事務費	材料費等	計
公共	0		0	0	0	0	0
民間事業所	44		13,562	62,980,917	7,664,666	1,694,277	72,339,860
一般家庭	38		159	869,906	112,761	129,200	1,111,867
計	82	117	13,721	63,850,823	7,777,427	1,823,477	73,451,727

(2) 事業実施に対する自己評価

年度当初よりコロナウィルスの影響も徐々に減り資材の流通も回復軌道に転換となり、企業からの受注も順調に回復することとなった。

しかしながら、作業場の主力業務である特殊ビニール加工の仕事は対ロシア輸出用の製品が主である為、今後も再開は厳しい展望である。

年度当初は半日作業が続き、就業会員からは不満の声も多く聞かされ打開策に苦心

しなければならなかつた。

幸いにも円安効果もあり発注先企業の業績も回復してきており、今後の発注展望や運転手不足による流通障害への対応策について協議する機会を作り、一定量の仕事の確保や輸送時間の短縮方法等について検討を重ねた。

結果として取り扱う品目・種類等も多様化することとなり、当初は就業会員も困惑したが慣れるに従い順調に製品化できるようになっていった。

企業団地に集う取引先各社も円安効果なのか順調に業績回復が進んだようで、滞っていた仕事も再開に目途がついてきている。

但し、自動車産業関係の企業が多く、トヨタの電気自動車へのシフトに戦々恐々の状況にあるようで一気に事業活性化とはならず慎重に見極める姿勢を維持している。

先の見えないロシア・ウクライナ戦争や物価の急上昇等、今後の景気の動向を左右する懸念材料が多々あるなかで安泰とは言い難い。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

会員登録状況

	令和5年度末登録会員数（人）				就業人員 (人)
	64歳以下	65～69歳	70歳以上	計	
男	0	6	61	67	67
女	0	3	37	40	40
計	0	9	98	107	107

(2) 利用状況に対する自己評価

年度内に退会された 10 名の方も就業実績があるため、就業率は 100% となった。全体的な傾向ではあるが、60 歳代の会員は入会しても親の介護が必要となり退会され、70 歳代の会員は配偶者の介護でやむを得ず退会の傾向がある。花園に集い働いている会員は「ここで仕事ができる社会環境と家庭環境にある幸せな高齢者ということだよ。」と口を揃える。

現在は、日本の高度成長期を支えた世代を中心となって展開しているが、80 歳を越えても元気に活躍されている方が 25 名と高年齢化が進んできており、一刻も早く 60 歳代から 70 歳前半層の会員増強が必須の課題となっている。

しかしながら、今後も国の施策による更なる雇用年齢の延長・引上げが推測される中での展開となり、厳しい状況が続くと思われる。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内訳	決算額(円)
収入	委託料収入	指定管理委託料	17,013,460
	利用料金収入	配分金	63,850,823
	事業収入	事務費収入等	7,777,427
	その他収入	材料費等	1,823,477
収入 計			90,465,187
支出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、事務費、手数料、修繕費、清掃等委託料、保険料等、建築物等定期点検費	20,034,801
	(うち修繕費)	※精算項目	1,137,742
	事業費	直接事業に係る経費	63,850,823
	その他	本部経費、租税公課、当期剰余金等	6,579,563
支出 計			90,465,187
差引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

コロナウィルスの影響が薄れ徐々に回復基調となり、久しぶりに事業実績も順調に推移することができた。

たまたま花園企業団地に集う各社は上場企業を中心に、円安の恩恵も受け好調な業績を挙げているにも関わらず各社ともロシア・ウクライナ戦争の影響が微妙に残っていることや電気自動車への転換問題、人件費や経費高騰、物流問題を抱え積極的な事業展開には至っていないのが現状である。

それでも作業場の主業務である特殊ビニール加工の取引実績を回復することができたのは、収支だけでなく就業会員にとって最良の結果に導くことができた。

4 アンケート結果

(1) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
令和 6 年 3 月	86	会員配布

(2) アンケート結果概要

- ・いつも通りに仕事が有れば、ほとんど不満の声はありません。

(3) アンケート結果に対する自己評価

何年も同じ内容のアンケートを回答されている方が多く、回答内容も大きな変化は感じられない。

働き方も一人ひとりの希望が異なり調整が困難ではあるが、安定して仕事があればそれなりに満足されていると思われる。

5 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

現在でもまだコロナウィルスやインフルエンザに対する警戒は残っており、市内の各種感染状況に応じた対応策を講じ手指消毒や除菌の徹底等を図り、安心して就業できる環境維持に努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

会員は生活に困窮している訳ではないが、仕事にきて昼弁当を食べて帰る日々の頃には、さすがに不満の声も出ていたが元通り1日仕事になり喜んでいる。

現役時代は製造業で働いていた方が多いこともあり、加工製品の種目変更への対応力に発注先も驚いていた。

作業難度が高くなつても柔軟に対応する能力は年齢が高くなつても衰えていない。

問題は各自が思っているほど身体は若くはない為、軽作業であつても無理な体勢での作業や重量物の移動については作業効率を踏まえた設備・装備の充実を図る必要性がある。

仕事は会員個々に希望するボリューム差があり全員が満足しているとは言えないが発注者の要望に応えて行くことが信用につながる旨を理解いただき協力体制を築いた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

一般家庭からの作業結果についての苦情は無し。

取引先企業の関連工場で労災事故が発生すると全ての出入業者に招集がかかり各業者における問題点・意見の提出を求められるという徹底ぶりで、事故に対しては厳しい対応となる。

会員に対する交通安全講習の要請も必要に応じて実施しなければならない。